

# 令和7年2月25日 会頭記者会見 発言要旨

## ■京・和新庵について

文化庁京都移転支援事業、ならびに2022年の京都商工会議所創立140周年記念事業の一環として整備しました旧・富岡鉄斎邸は、昨年1月に竣工し、これまで、仮称の「文化と産業の交流拠点」として、皆様にご利用いただいていたところですが、このたび、名称を決定いたしました。

新名称は、京・<sup>わ しん あん</sup>新庵 ～文化と産業の交流拠点～ です。

日本の「和」の心をもってお互いの交流を深め、「新」しい価値を創造する場所となるように、また令和の「和」と、経営革新の「新」の意味合いも重ねました。そして何より、京都から文化と産業を発信することを意識して、「京」の文字を冠しております。

昨年4月より本格的に利用を開始し、企業や経済団体、行政機関など、これまで約90件、のべ3500名の方々にご利用いただきました。経営者やビジネスパーソンを対象とした いけばな や茶香服、これはいわゆる利き茶ですが、これらの文化体験をはじめ、企業のビジネスミーティングや交流イベントの会場として活用いただいております。京都府の協力により、夏休みに開催した子ども向け文化体験教室には延べ157人が参加し、次の世代への文化発信の場となりました。ほかにも、京都企業に関わる番組収録に利用いただいております、情報発信拠点としての可能性も広げております。

引き続き、京・和新庵を核に、文化と産業の連携による、新たな価値創造に取り組み京都経済の発展につなげてまいりたいと思います。

## ■販路開拓支援事業について

去る2月12日から3日間、東京ビッグサイトで開催されました展示会、「東京インターナショナル・ギフト・ショー」において、新しいライフスタイルを提案する京都企業の販路開拓支援を実施しましたので報告いたします。

この展示会には、本所が行う販路開拓支援事業「京都W.D.H.」の参画企業16社と、「京都知恵産業フェア」の50社が出展しました。「京都W.D.H.」は「Wonderful Deep Heritage」の頭文字をとったもので、2022年度から実施しております。国内外の販路開拓支援に豊富な経験を持つ 様々な専門家より半年以上にわたって指導を受け、各社の技術や強みを活かして開発を進めてきた商品を、発表してまいりました。初年度の参加企業では、開発した商品を軸に、材料卸事業からはじめて小売に進出し、相乗効果もあって年商の1割を超える売上を上積みした事例も生まれております。

今年、各社が発表したギフト商品は、出展ブースを訪れたバイヤーの反応がよく、取引に関する商談は延べ500件にのぼりました。出展者からは、京都では接点を持たないバイヤーと有意義な商談ができたとの報告も多く、手ごたえを感じています。中には、今回の事業を通じて開発した新商品により、従来の取引先とは異なる業界のバイヤーの目を引くことに成功し、会期の3日間で、催事出展などを含め40件近い商談の成約が見込める参加企業もありました。

また、「京都知恵産業フェア」の 50 社においても、京都ならではの個性ある商品を提案し、多くのバイヤーから注目を集めておりました。こちらは、来月12日から京都市勧業館・みやこめっせで行われる「京都インターナショナル・ギフト・ショー」にも 80 社が参加し、“京もの”の魅力を発信いたします。ぜひ取材をお願いいたします。

#### ■価格交渉 動画セミナーの配信について

これまでから、成長型経済を実現していく上で、大多数を占める中小企業の発展が不可欠であるとの認識で、適正な価格転嫁を促すパートナーシップ構築宣言を進めるとともに中小企業自らの生産性向上への取り組みを促進し、収益性の向上を図っていくことが大切だと申し上げてきました。

中小企業庁が毎年 9 月と 3 月を「価格交渉促進月間」と定めていることに合わせて、このたび本所では、交渉を有効に実践するための動画を作成し、3 月 4 日より、インターネットで広くご覧いただける、動画セミナーを配信することといたしました。

基礎知識から具体的な価格交渉テクニック、業種別のポイントのほか、AI・人工知能やデジタルツールを用いた生産性向上・コスト削減にも言及しており、中小企業の皆様にうまく活用いただき公正な取引環境実現の後押しになればと思っています。ご覧いただくことで、取引適正化と業務改善の両面から、経営体質を強化いただきたいと考えております。ぜひともマスコミの皆様にも周知にご協力いただけましたら幸いです。

#### ■大阪・関西万博について

さて、大阪・関西万博の開幕まで47日、ひと半月前となりました。各パビリオンが完成、あるいは間もなく完成を迎えるタイミングとなり、これからその見どころが発信されることで、さらに関心が高まることを期待しております。また京都駅からの直行バスの運行も発表されました。マスコミの皆様におかれましては、今後一層、万博への期待が高まる報道をお願いいたします。